

スパークル法律事務所

多くの法分野に精通し、横断的なアドバイスを提供
～すべての企業に適切なリスク管理を～

弁護士が提供する価値の最大化を目指す 「次世代型」の法律事務所

スパークル法律事務所は、「次世代型」の法律事務所を目指して、2021年4月に設立された新しい事務所です。

企業法務を主に扱う国内法律事務所のパートナーとして、多数の上場企業や外資系グローバル企業のクライアントの案件に携わってきた三谷革司弁護士を中心に、志を同じくする弁護士が集っています。

「AIやChatGPTなどテクノロジーはどんどん進化しており、多くの企業では、テクノロジーを活用した事業展開が当然の前提となっています。しかし、企業の事業を支えるべき立場の日本の法律事務所では、まだまだ積極的なリーガルテックの活用が進んでいるとは言えません。依頼者にとって最適なアウトプットをよりスピーディに提供するためには、弁護士自らもテクノロジーを使いこなして作業を効率化し、クリエイティブに頭を働かせることが必要だと考えています。」(三谷弁護士)

プライム上場企業からスタートアップまで 多岐にわたる企業法務

スパークル法律事務所では、プライム上場企業からスタートアップまで、ステージの異なるクライアント企業からの幅広い企業法務にまつわる相談に対応しています。

「弁護士になって以降、多数の株主総会支援や企業買取等の契約交渉、その延長線上での紛争解決(訴訟・仲裁・調停)に携わってきました。クライアントの業務分野は様々ですが、特徴的なところでは、製薬・医療機器等のヘルスケア分野や、業態ではメーカー、商社などが多いかと思えます。

近年は、起業する経営者の方からの依頼も多く、スタートアップ企業からの依頼やIPO準備なども扱うようになりました。

「弁護士が企業にとって頼れるリーガルアドバイザーであるためには、多くの法分野の業務に経験があり、横断的なアドバイスができることが必要であると考えています。」(三谷弁護士)

このような、企業法務分野を幅広く扱っている点と三谷弁護士の知見に惹かれて参画した一人が、津城耕右弁護士です。

「私は元々、企業法務のみならず一般民事事件も扱う事務所に所属していたのですが、経験を積むうちに企業法務に専念したいと考えるようになりました。三谷弁護士の様々な情報発信を見て、スパークル法律事務所での企業の方々のお役に立つことができると考え、入所を決めました。入所してからは、会社法のみならず、日常的に様々なご相談をいただきます。ご相談には最新のトピックスに関するご相談も多くあるため、アンテナを高くもつことを意識し、最新の情報を収集しながら対応させていただいています。」(津城弁護士)

リスクマネジメント分野の拡充

2023年4月には、弁護士事務所および外資系金融でのキャピタル・マーケッツ、M&A、証券化、法務部の運営、コンプライアンス業務、外資系の海外本社・リージョン本社での経験等、豊富な経験を有する齊藤真琴弁護士が参画し、金融分野が強化されたほか、リスクマネジメントへ対応する体制が強化されました。

「法的解釈についてのアドバイスだけでなく、企業のリスクマネジメントに広く貢献することがこれからのリーガルサービスで重要だと考えてい

ます。企業内で法務部が使っている時間は、直接的な法解釈より、むしろリスクマネジメント・ガバナンスという観点のものが多いです。それだけ会社にとって重要な問題であり、この部分をしっかりと、正面からサポートしていこうと考えています。」(齊藤弁護士)

齊藤弁護士は、リスクマネジメント・サービスの一環としてコンサルティング会社であるファースト・コンパスを設立し、意欲的な活動を行っています。

クライアントフレンドリー

スパークル法律事務所は、少人数であるからこそ、問題の解決策を共に考える「クライアントフレンドリー」という姿勢を大切にしています。

「クライアントの事業やカルチャーをしっかりと理解し、信頼関係を構築することが大事だと考えています。そして、一見、難しそうな案件でも、徹底して取り組み、何とか実現する方法やロジックがないか、考え抜く姿勢を忘れないようにしたいと考えています。」(三谷弁護士)

「次世代型」への「挑戦」と今後

新しいものへ「挑戦」しようという気風も共有されています。弁護士業務においては、AI契約書レビュー・サービスや、オンライン書籍閲覧サービスなどを導入するとともに、ライフスタイルに合わせたリモートワークも活用されています。事務所内会議での自動音声入力の活用やSNSでの発信等、テクノロジーを積極的に活用しようという「挑戦」も自然に起きています。

「私自身が、新しいモノ好きという面もあるのかもしれない。」(三谷弁護士)

「リモートワークの環境も整えられており、在宅で業務を行うことも可能です。通勤の負担が減ることで業務や家事に割く時間を確保することができ、重宝しています。」(津城弁護士)

「『スパークル』とは、英語で『輝く』という意味です。設立地の神田淡路町の冬空に、ひときわ美しく輝くイルミネーションのように優れた才能が集



齊藤真琴弁護士 三谷革司弁護士 津城耕右弁護士

まる場でありたいという思いが込められていると言います。

「法律事務所の価値の源泉は、有能な人材の集合体であることにあります。弁護士、パラリーガル、スタッフを問わず、才能がある人材が集まる場となり、クライアントにハイクオリティかつ洗練されたリーガルサービスを提供できるよう努力していきたいと考えております。向上心とアントレプレナーシップを持ち、我こそはと思われる方の参画をお待ちしております。」(三谷弁護士)



SPARKLE LEGAL
TOKYO

スパークル法律事務所

弁護士数：3人(2023年11月末現在)
代表弁護士：三谷革司(第一東京弁護士会)
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス1205
TEL:03-6260-7155
URL: <https://sparkle.legal>
Mail: info@sparkle.legal

各種SNSにて事務所情報発信中!

X(twitter): https://twitter.com/SPARKLE_LEGAL
Note: <https://note.com/sparklelegal>
Facebook: <https://www.facebook.com/sparkle.legal>